

新宮高等学校定時制

実施日時	令和元年 9月 4日(水)、11月 6日(水)、12月23日(月)
参加者	生徒26名、教職員10名、計36名
実施内容	津波避難訓練、防災避難訓練、炊き出し・配膳訓練

ねらい

- 1、防災に関する意識を高める
- 2、被災時に救援活動に参加する意識と技術を身につけさせる。

主なプログラム

訓練① 9月4日(水)

18:00 火災警報発令緊急放送「これは訓練です。校舎第3棟より出火しました。現在まだ火災は大きくありません。生徒諸君は担任の先生の指示に従って、すみやかに体育館前に避難してください。」

生徒は担任の誘導で体育館前に避難する

18:30 消火訓練 その場で消火器の使い方等について消防署の指導を受け、理解を深める。

19:00 煙体験訓練 全員1階多目的ホール前に集合 懐中電灯を配布、火災発生を想定し、煙を避けて避難する方法を学習する。

各学年、2人(3人)一組となって煙からの避難を体験する。

19:30 消防署員からの講評と講話、津波からの避難についてのビデオ鑑賞

訓練② 11月6日(水)

18:00 緊急地震速報訓練放送・机の下等に避難

18:10 教科担当の指示で避難開始

(停電を想定して廊下・ベランダの電灯は消しておく)

(避難の際、スマートフォンの電灯機能を利用するむね伝える)

HRを消灯する 教科担当)

3棟東側屋上に出て、整列、教科担当点呼、教頭先生に報告。

18:30 多目的教室に集合、防災係より講話

訓練③ 12月23日(月) 防災用品と準備についてのビデオ鑑賞と炊き出し訓練

18:00 多目的教室に集合、担任点呼の後、生徒会役員を中心に、アルファ米の炊き出し・配膳訓練 最初に生徒会長が、アルファ米への湯の入れ方を説明して実演、その後全員で炊き出し訓練

18:20 「南海トラフ巨大地震の津波シミュレーション動画」「【津波の高さ比較】南海トラフの34mがいかにヤバいか分かる動画」を鑑賞。

18:50 各HRで感想文記入

概要

- 1、火災発生を想定した避難訓練・消火訓練、煙体験と防災学習(津波からの避難についてのビデオ鑑賞)
- 2、世界津波の日における、授業中の停電を想定した地震・津波避難訓練
- 3、津波浸水シミュレーションのビデオ鑑賞と炊き出し訓練

参加者感想文

・自分が住んでいる地域に南海トラフ地震が近いうちに来ると思うと心配だけど、避難して逃げ延びようと思った。(一年女子)

・自分の家に津波が約10分でほどで来ると聞いて、早く高いところに逃げようと思った。

(一年女子)

・煙体験では、なるべく低いところを移動しようと思ったもしそういう場面に出会ったら、学んだことを生かしたい。 (二年女子)

・自分が死ぬまでの間に地震や津波が来るかわからないが、だからこそ日常生活の中で、いつ何が起きても大丈夫なように焦らず冷静に対処できるようにして、誰よりも早く行動に移すことが大切だと改めて思った。 (二年女子)

・少しでも高い場所を、一つでも知っておけば命が助かると感じた。(四年男子)



消火訓練

成果と課題

【成果】

・避難訓練は、おおむね迅速に行うことができた。

・火災を想定した訓練を実施したことで、地震・津波以外の災害への意識を高められたことが感想文からうかがえた。

・津波から迅速に避難する意識を、ビデオ鑑賞によって高められたことが感想文からうかがえた。

【課題】

・夜間定時制であり、停電を想定した避難訓練は、今後も重ねて実施していく必要を感じる。



夜の校舎屋上に避難



非常食の炊き出し訓練



消防署員の説明を聞く